

各地区業況アンケート結果（2021年1月調査分）

（2021年1月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、1月22日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ80名の回答があり（回答率56.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、（数は回答実数）

1. 6割弱の企業が前年割れ

問1】貴社の12月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	7	12	16	14	29	78	72
比率	9%	15%	21%	18%	37%	DI-59	DI-103
売上金額/前年同月比	4	9	20	17	29	79	73
比率	5%	11%	25%	22%	37%	DI-73	DI-122

2. 赤字企業35%

問2】貴社の12月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	12	22	18	18	10	80	73
比率	15%	28%	22%	22%	13%	DI+10	DI+19

3. 年初も減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て1月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	2	34	14	5	56	-36	-44
民間建設向		3	31	21	9	64	-56	-66
自動車向		6	23	9	1	39	-13	-15
その他需要家向		6	38	19	5	68	-34	-41
仲間取引	2	3	35	18	11	69	-48	-57
計	3	20	161	81	31	296	-40	-47
比率	1%	7%	54%	27%	11%			

4. 期待感なく暫くは低調な需要動向

問4】貴社における向う2月から4月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	0	12	36	19	9	76	72
比率	0%	16%	47%	25%	12%	DI-33	DI-47

5. 薄中板、非常に不足ぎみに

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種別	A	B	C	D	E		1月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
-9	-21	-25	-31	-32	-38	-24	-25	-4	0	-7	-10	-7	鉄筋用丸鋼		5	25	2	1	33	3
-21	-29	-17	-27	-32	-26	-35	-38	-17	-15	-16	-10	-11	構造用丸鋼		2	26	2		30	0
-15	-12	-6	-17	-26	-23	-25	-23	-14	-9	-13	-15	-6	平角鋼		1	31	2		34	-3
-6	-16	-30	-13	-31	-30	-20	-19	-4	-3	0	-3	20	H形鋼	1	4	27	2		34	12
-22	-16	-28	-36	-29	-38	-38	-41	-33	-29	-21	-20	-13	コラム		2	23	2		27	0
-22	-16	-17	-18	-16	-24	-34	-29	-14	-12	-9	-15	-9	小形山形鋼		1	32	3		36	-6
-29	-30	-24	-24	-25	-33	-30	-26	-10	-12	-12	-14	-9	中形山形鋼		2	30	4		36	-6
-26	-26	-20	-24	-32	-39	-40	-27	-18	-12	-13	-17	-13	溝形鋼		2	30	3		35	-3
-29	-26	-20	-24	-18	-21	-30	-27	-27	-17	-23	-16	-11	軽量形鋼C形		3	26	1		30	7
-18	-26	-15	-15	-17	-26	-21	-25	-25	-16	-26	-22	-11	軽量形鋼広巾		1	21			22	5
-47	-61	-58	-58	-71	-65	-70	-57	-58	-41	-3	10	35	冷延薄板	14	12	9	1		36	108
-47	-55	-55	-56	-73	-58	-71	-64	-54	-35	0	31	58	熱延薄板	13	18	9	1		41	105
-52	-63	-68	-66	-76	-64	-62	-53	-57	-34	13	23	34	表面処理鋼板	13	15	6	1		35	114
-58	-64	-65	-70	-85	-77	-78	-80	-67	-47	18	34	75	酸洗鋼板	17	13	7			37	127
-48	-56	-51	-49	-64	-61	-71	-46	-49	-22	15	18	49	中板	11	18	14	1		44	89
-49	-49	-44	-63	-63	-72	-60	-46	-52	-41	-8	-8	15	厚板	2	13	21	4		40	33
-32	-29	-47	-50	-26	-25	-29	-29	-42	-40	-11	-18	-9	極厚板		5	12	3	1	21	0
-23	-25	-18	-20	-32	-21	-33	-26	-24	-21	-10	0	0	縞板		6	21	4		31	6
-27	-28	-32	-30	-39	-38	-45	-36	-33	-26	-20	-15	-9	中径角		8	25	5		38	8
-5	-18	-20	-20	-24	-27	-21	-22	-23	-19	-23	-11	-3	ガス管黒		4	30	5		39	-3
-5	-17	-21	-20	-27	-27	-23	-29	-19	-18	-18	-16	-6	構造用鋼管		3	30	5		38	-5
-28	-33	-32	-35	-40	-41	-41	-37	-31	-22	-8	-3	9	計	71	138	455	51	2	717	31

6. 需要低調の中、メーカー値上げの価格転嫁が急務

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 昨年12月の荷動きは駆込みもなくおとなしい展開で終始した。ファブはすでに受注している物件に対し、大幅な鋼材値上げに苦慮している。
	B	今冬は超閑散期。年末年始の鉄筋加工業者の休業も長い。仕事のない中での各メーカーの販価上昇に苦しむ冬場になると不安である。
	C	民間需要が激減していて、大変厳しい状況になっている。
東北	A	土木物件はありそうだが、期待が持てるか価格が非常に心配である。発注時の単価と積算単価がどうなっているか今は楽しみにしていきたい。
	B	スクラップの高騰で丸棒の駆込み受注があったが、量的にそれほど多いものではなかった。
	C	全体的に販売数量および取扱い件数(見積り含む)は減少している。反面、メーカー値上げが大きく、今後の価格調整で苦慮しそう。営業で大きく動けないのが問題である。
	D	材料の価格高騰により、かなり混乱している。
新潟	A	品薄から入荷状況はよくない。価格についても日を迫うごとに上がっていく。販売に際しては小刻みに短期間で値上げを実施していく。
	B	冬場にかけて需要減に加えコロナの影響も散見される。メーカーの大幅な値上げにどれだけユーザーが理解していただけるか。過剰な競争はお互い自重したい。
	C	メーカーによる大幅な価格の値上げが行われ、需要が少ない環境での価格転嫁が急務。
	D	メーカーの値上げに対応する物件はない。小型の地場物件もなく、その上に豪雪に見舞われ毎日、雪かきばかりしている。2月に期待している。(本当は2月が一番寒く雪が降るのだ！)
	E	年末からの大雪のため出足は鈍い。また、年明け早々メーカーからは値上げと納期遅延の通知多数。前途多難な年明けとなった。
	F	降雪期に入り、一段と需要は冷え込んでいるが、鋼材価格は毎月のように値上りしている。在庫で利益を稼ぐ最大のチャンスがきている。メーカー値上げの背景を需要家に丁寧に説明して安易に妥協販売することなく値上げを実現したい。
	G	製造業は、季節商品の増加や需要に回復が見られる業種がある。また、メーカーの引受カットが続いているため、市中在庫も少なく、薄板各品種はタイト感も出ている。建築は端境期となっており、鉄骨価格の下落が見られるなど、回復にはまだ時間を要する見込みである。
神奈川	A	新年早々から昨年同様、新型コロナウイルスの感染が高まり、7日には1都3県に緊急事態宣言が発令された。建設業界の影響も大きくなるだろう。市況も昨年からのメーカー値上げ動向で、流通もそれなりに価格改正を進めている。厳しい状況にならなければよいと思う。
	B	工作機械向けの引合いが少なく、先行き不透明な状況。民間建設、公共建設は引合い数が増えてきているので、安定的に受注できる状況になるかもしれない。
東京	A	国内の厚板、土木工事向けは特に大きな上下はなく推移している。メーカー価格、納期だけが、需要と無関係にあわただしい動きをしている。
	B	需要を起こす策を経産省にも全鉄連にも出してほしい。
	C	一部の建機関連の需要家の生産の持ち直しもみられるが、新型コロナ感染症の影響が継続しているため店売りは前年同月比減少。
	D	12月に入り、高炉が枠を絞っていることと輸入材の入着が減少しているため、市中の材料は一気に不足してきており、在庫の問い合わせが極端に増えた。ただ、需要がよくなったの材料不足ではないため、先々はどこまで、この状況が続くか不安でいっぱいである。

東京	E	12月は需要も少なく厳しい月となった。前年同月比では前年の年明けは受注を残したまま、年末年始を迎えたが、今年は全く受注残がなく、不安な年越しとなった。また、雇用調整も社員によっては月100時間を超え、モチベーション(活気)を維持することが困難となっている。年始の挨拶回りも控えた。
	F	(鋼板)トラック他、需要家向けは堅調で安定した受注量である。店売りは品薄感が鮮明でない物高の様相である。
	G	仲間取引のフィールドでは、「材料・母材がない」と電話だけの問い合わせだけは飽和状態だが、実際にユーザーで材料がなくて困っているという話は聞かない。実需の部分では逼迫した様子がないような気がする。
	H	(鉄筋の店売り)年末年始は秋に比べて動きは2割位悪い。しかし、仕入高により1月からキロ6円位上げている。
	I	需給の非常にタイトな状況が続いている。メーカー値上げの転嫁をどんどん進めていきたい。
静岡	A	形鋼単価の上昇と鉄骨請負金額の下落のなか、稼働案件も少なく厳しい年明けとなった。2月後半から順次案件稼働と聞いているが、現在の社会情勢で予定通り出件されるか不安は尽きない。各品種で急激な値上げと品不足が発生し、2018年当時と同様、転嫁と手当に苦労しそうだ。
	B	材料値上げアナウンスに客先のリアクションが無に等しいのはなぜか? 「わかっている」がほとんどの回答。足元の物件見積りの材料単価は確実に上げているようだが、時節柄、楽観視である。業界各流通大手の新しい物事へのチャレンジが激しくなりそうな感じである。
石川	A	需要面ではモノ造りがまだまだの気配で、特に工作機械が大不振の中にいる。その他のモノ造りはぼちぼち回復気配を感じる。建築は物流関連が元気である。公共工事は勿論、当たり前の状況でさらに国土強化に具体策をもっと出すべし。それにしても現首相は慎重すぎて、本当に現状を知らないのかもしれない。前職は秘書課長だったから考える力が不要だったと思う。8年以上もやっていたらぼけるのは仕方がないか。
	B	薄板の入手が困難になるにつれ値段も一気に上がっているが、丁寧に説明して転嫁するように努めている。「値上げは分かったから供給を頼むぞ」とよく言われるがよい返事ができないことに虚しさを感じる。
富山	A	年末年始は降雪も少なく、受発注量も安定している。鋼板類全般で在庫制限と価格転嫁が進んでいる。途中、月在庫が半減の予想もあるが、コロナによる販売減と需給バランスがとれるかどうか不明である。
	B	「食は中国にあり」ならぬ「鉄は中国にあり」原料も製品も日本の需給に関わらず中国次第。
岐阜		店売りの定尺鋼材はあまり変化なく売れていくが総売上となる物件量に左右されてしまう。大勢の業務にあたっている本業が安定していると様々なチャレンジも考えられるが売上イコール安売りにつながらないようにできないだろうか。
大阪	A	実需は伸びていないが、鉄鋼メーカーからの値上げおよびタイト感により市況はナイモノ高となっている。財源が限られているため、選択受注をせざるをえない状況。大手需要家は価格よりも材料確保を優先する思考ヘシフトしているため、値上げは通りやすくなってきた。
	B	スクラップの高騰によりメーカーが大幅値上げ。12月は仮需、先行手配が発生。販売量はH形鋼、一般形鋼とも11月比増加した。1月も原材料は強基調。需要にかかわらず、メーカー値上げ分を利益が確保できるまで押し上げていく。
	C	メーカーが供給を絞っている影響で本来ロール対応するような引合いが増えてきている。

兵庫	薄・中板が超タイト。春から夏にかけて厚板も同じ状況になりそう。しかし、需要が伴ってきたので申込みを増やせない。メーカーの急激な値上げによる価格転嫁に苦勞する。
岡山	年末年始の電話の数、FAXの数はさっぱりである。低調なスタート。電炉品の強気とは真逆の市中の景況感。水島コンビナートからも景気のいい話は聞いていない。
香川	四国は、復調している自動車関連などの業種もなく、建築についても物件少ない。加工単価は大落、鋼材の値上りでファブにとっては非常に厳しい環境が続くと思われる。与信不安も出てきそうだ。
北九州	出荷量は低位で変わらずだが、メーカー値上げを受けて流通間の引取りも値上げが浸透しつつある。年明けから急ピッチで進んでいくような感じである。
福岡	需要低迷が続き、回復の見通しは不透明で景況感も悪化している中、供給面は母材需給がタイトで、価格も大幅に上がってきており、仕入値高の製品安の板挟みで採算的に厳しい状況である。